

5/10(土)にコペンハーゲンからフランクフルト空港経由のイタリア・ミラノリナーテ空港に向けて出発した。

今まで合同研修で一緒に過ごしてきた久保さんと離れて一人で個別研修先に向かうことに不安だけであったが、無事経由地であるフランクフルト空港に到着！時間に余裕を持ってゲートの前の椅子に座って待つが、時間になっても搭乗ゲートのアナウンスがかかる様子が無い…。「搭乗ゲートを間違えた！？」と一気に不安になり、カウンターにいる職員にチケットを見せながら「このゲートで合ってる！？何時に出発？」と質問したが、「ゲートは合っているけど、私たちもなんで遅れているのか知らない」とのことと頭が真っ白に…。偶然私の座っていた隣の女性が日本人で同じミラノ・リナーテ空港に行くとのことと意気投合し、少し不安な気持ちが軽減した。その女性はアメリカの大学に留学していて休暇で友達のいるイタリアに行くようで、ざわざわしている中でも英語を聞き取ってくれて丁寧に教えてくれた。3時間遅れで出発し、無事ミラノ入りすることが出来た。空港でその女性とは解散し宿に向かったものの、ここでも問題発生…。告げられていた部屋に行くと先にカップルがいるというブッキング。拙い英語と翻訳で「この部屋と言われたのだが…」と説明すると意図をくみ取ってくれてすぐに対応してもらい無事一息つくことが出来たのであった。



イタリアの個別研修先の VARIEVIE immersa nella Natura、VARIEVIE ASILI NIDO の視察と園長の Ms.Anna にインタビューをさせていただいた。VARIEVIE immersa nella Natura はティチネッロ都市農業公園内にあり 1 日中外で過ごしており、子どもたちが「やってみたい」という気持ちに対して環境を整備することを大事にしていることを教えていただいた。ADHD 児も戸外で過ごすことで落ち着きが見られているということを教えていただいた。



VARIEVIE ASILI NIDO は 0～6 歳までの子が在籍しており、モンテッソーリ教育の他にもレッジョミリア教育を取り入れていた。レッジョミリア教育は子どもたちの主体性を大切にして、アートやプロジェクト活動に力を入れている教育方法で、VARIEVIE ASILI

NIDO でも様々な国籍の子を受け入れており障害の有無に関わらず、どんな子供も一緒に学ぶフルインクルーシブな様子を見ることが出来た。詳細は後日提出する報告書にて記載する。



休日は宿の周辺を散歩したり、念願の DOUMO に行った。
ミラノの店でパスタやサンドイッチを食べたのだが、私の体に合わずすぐにお腹を下してしまったため持参した整腸薬がとても役に立った。デンマークより乾燥等で肌荒れも目立っていたためミラノの無印良品に買い物に行ったが、店内は日本の無印良品と雰囲気が変わらず安心した。ミラノは蚊が多く、顔や足を刺されて痒みに耐える日々であった…。

